

【参考】CUMOT エッセンシャルMOTコース 2025年度 学習目標（科目提供順）

科目名	学習目標
企業戦略とイノベーション	本科目の学習目標は3点です。第一は、経営戦略論という広範囲で複雑な分野の全体像を把握することです。第二は経営戦略論の各論についてのディスカッションを行えるようになります。第三は経営戦略論の先端的な分野の一つであるエコシステム論について理解し、オリジナルな調査による発表とディスカッションができるようになります。
計算社会科学と社会イノベーション	ビッグデータ技術の登場により、人間行動や社会経済活動に関する詳細がデジタルで記録・蓄積されるようになりました。このようなデータには、人々が発する顕在的シグナル(バースト、エンゲージメント、情報拡散)や潜在的シグナル(雰囲気、感情、暗黙知)など、多様な情報が含まれています。ここには、社会問題を解決し、ビジネスにつながるヒントが埋め込まれています。本講義では、計算社会科学の手法を用いてビッグデータを分析・モデル化し、創造的に活用し、得られた知見と洞察を社会イノベーションにつなげる方法を学びます。また、グループ課題を通じてデータ駆動アプローチを体験していただきます。
デザイン思考	デザイン思考というキーワードが「製品・サービス開発の新たな手法」という文脈で語られるようになり久しいですが、誤解や誤用に基づく過剰な期待の上の失望を生むケースも多いようです。本講義では、産学連携授業「エンジニアリングデザインプロジェクト」の現場におけるデザイン思考の実践例を示しながら、単なる方法論に留まらないデザイン思考の活用方法を示します。また、次世代の製品・サービス開発において重要な視点についてグループ課題に取り組んでもらい、議論を行います。
人財／組織マネジメント	複雑性が増した今日の企業環境の中で、望ましい組織のあり方や個人のあり方を探究します。近年注目されている「学習する組織」アプローチの理解を通して、自身の組織の変革に対して自分自身の関わり方を考察します。
連携型イノベーション戦略	・イノベーションにおける「連携」の重要性を理解し、連携型のイノベーション戦略を学ぶ。 ・産官学連携によるイノベーション戦略、標準化によるビジネス戦略について理解する。
マーケティングとブランドマネジメント	本科目ではブランドマネジメントの基礎となる理論や概念について講義を行うとともに、現代におけるマーケティングとブランドマネジメントのあり方を踏まえたディスカッションを行います。学習目標は3つあります。1つ目は、ブランドマネジメントについての基礎的な知見と企業における位置付けを理解し、実行の筋道をつかむことです。2つ目は、あらゆるモノ・コトをサービスとして捉える論理に基づいてマーケティングを捉えられるようになります。3つ目は、近年のブランドマネジメントの変化について、サイバネティクスの観点から説明できるようになります。
ファイナンス＆アカウンティング	財務および会計に関する基本コンセプトを理解し、財務分析等に不可欠な基礎知識を修得する。
事業リスクマネジメント	新規科目
ビジネスシミュレーション M&A案件と事業評価	ビジネスシミュレーションモデルと仮説の構築手法・定量分析・シミュレーションの考え方を学ぶ。具体的には、Excelで動くシミュレーションソフトで、感度分析・What-If分析・リスク分析を実践する。M&A案件を題材としたグループワークを行い、自らの考えを短時間で整理して論理的に説明すること、及び、意思決定者に対する説明の重要性や意思決定の難しさを経験する。
事業開発・アントレプレナーシップ	本講義では、事業創成の実践論を扱います。第1回では、アントレプレナーシップの歴史的背景および意義と効用について、経済学・経営学の視点から解説します。また、大企業の事業開発部署、スタートアップ(ベンチャー)企業、インキュベータ、ベンチャー・キャピタル等の実務家の経験に基づいた、事業計画の立案における要点を解説します。第2回では、第1回の講義内容に基づき、事業計画をグループワーク形式で立案し発表する演習を行います。※科目担当変更により更新予定
知的財産戦略	企業の事業の成功・競争力強化の戦略には、研究開発から事業化における知的財産のマネジメントのあり方が近年重要となっています。一方、グローバル化・デジタル化の進展の中で知的財産戦略はますます複雑化しています。本講義では、イノベーションと知的財産権の関係、イノベーションモデルにおける知財の重要性を学習し、企業のイノベーション・競争力強化につながる知的財産のマネジメントの在り方を理解します。また、知財を巡る最新の状況、例えば知財データや安全保障貿易管理、それらを巡る政策の変化なども解説します。理解を深めるため、知的財産戦略に関するグループ課題に取り組んでもらい、議論を行います。

はシミュレーション教材を用いたグループ演習科目